

# 富士通 Interstage Application Server V10 での Oracle Business Intelligence の動作検証

*Fujitsu・Oracle* ホワイト・ペーパー  
2011 年 11 月

ORACLE®

FUJITSU

## 1. はじめに

日本オラクル株式会社と富士通株式会社は、富士通の Interstage Application Server V10 での Oracle Business Intelligence の動作検証を共同で実施しました。なお、Oracle Business Intelligence では、Oracle 以外のアプリケーションサーバーとして初めて富士通のアプリケーションサーバー Interstage Application Server V10 での動作を検証しました。

富士通 Interstage Application Server は、変化するビジネス環境を継続的に支える高信頼・高性能なアプリケーション実行基盤です。システム更新等によるバージョンアップ時にも、アプリケーション互換を保証する機構により、新バージョンのアプリケーションサーバ上での既存アプリケーションの継続利用を支援します。また、標準技術により、高い移植性で、他ベンダーや OSS 上のアプリケーションの移行を実現します。

Oracle BI Enterprise Edition (EE)は、革新的で包括的な市場でのリーディング BI プラットホームです。本当のエンタープライズ展開のために設計された次世代アーキテクチャで最大範囲の BI 能力を提供します。

それは、IT 組織による単一の定義ですべての企業データの論理参照を可能にします。それが、単一のデータウェアハウスか複合的な操作・分析ソースの横断分析であろうと同様です。そして、ビジネスユーザに新しいレベルの自立アクセス、対話、有効性を増加させるこの情報の利用手段を提供します。

### ■検証環境

サーバ	PRIMERGY RX300 S5 Server
BI システム基盤	Oracle BI Enterprise Edition 10.1.3.4.2
Web サーバ	Interstage Application Server Standard-J Edition V10.0.0 (Java EE/JDK6)

### ■検証内容

富士通の Interstage Application Server V10 に、Oracle Business Intelligence コンポーネントを配備し、Oracle Business Intelligence Answers を使用したビジネス・インテリジェンス・リクエストの作成および変更や、インタラクティブ・ダッシュボードの作成および変更などが正しく動作することを検証いたしました。

本資料は、これらの組合せで利用する際の正しい構成方法について説明しています。

## 2. 動作環境の構成方法

Oracle Business Intelligence は既にインストール済であることを前提とします。

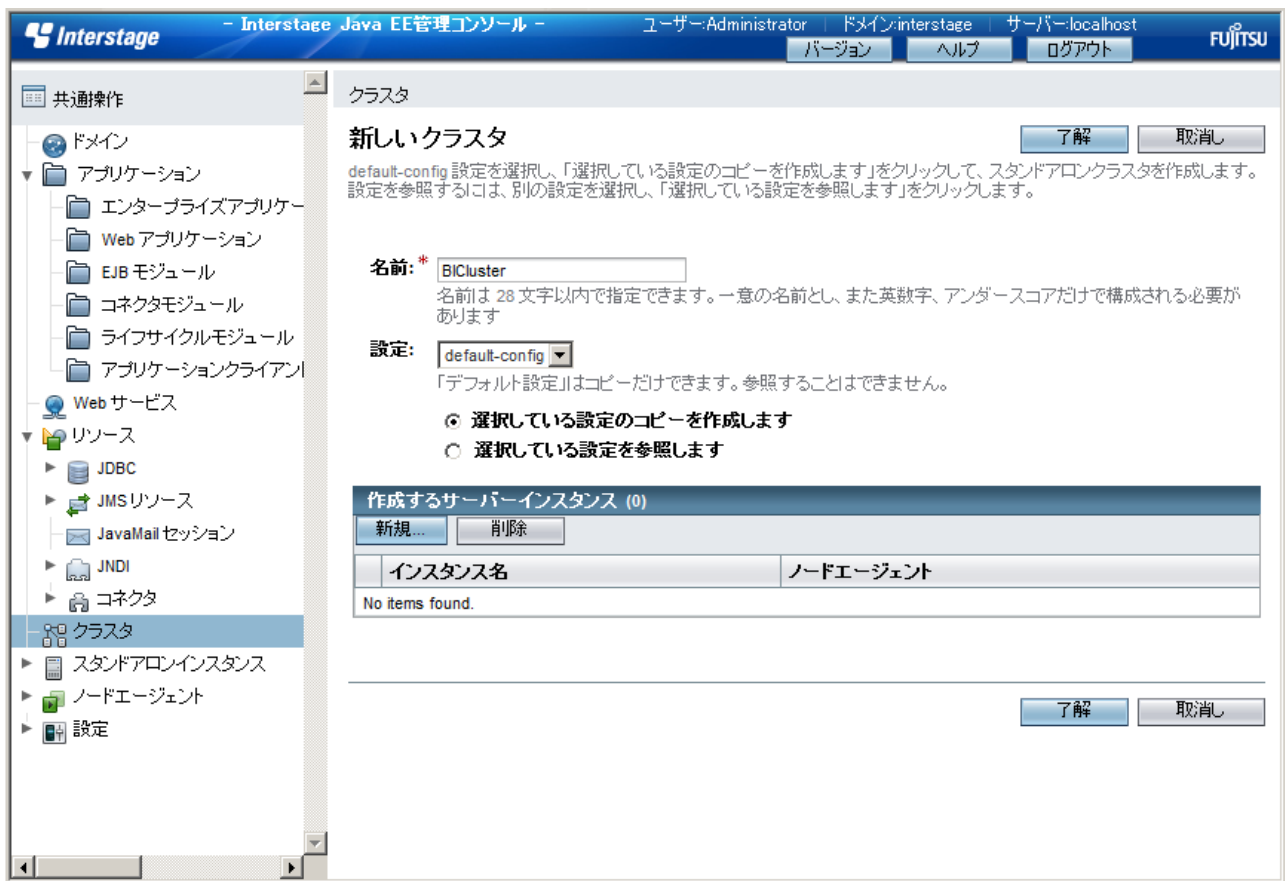
### 2.1 Interstage Application Server V10 のインストール

Interstage Application Server V10 のアプリケーションサーバ機能を標準インストールでインストールします。

### 2.2 IJServer クラスタの作成

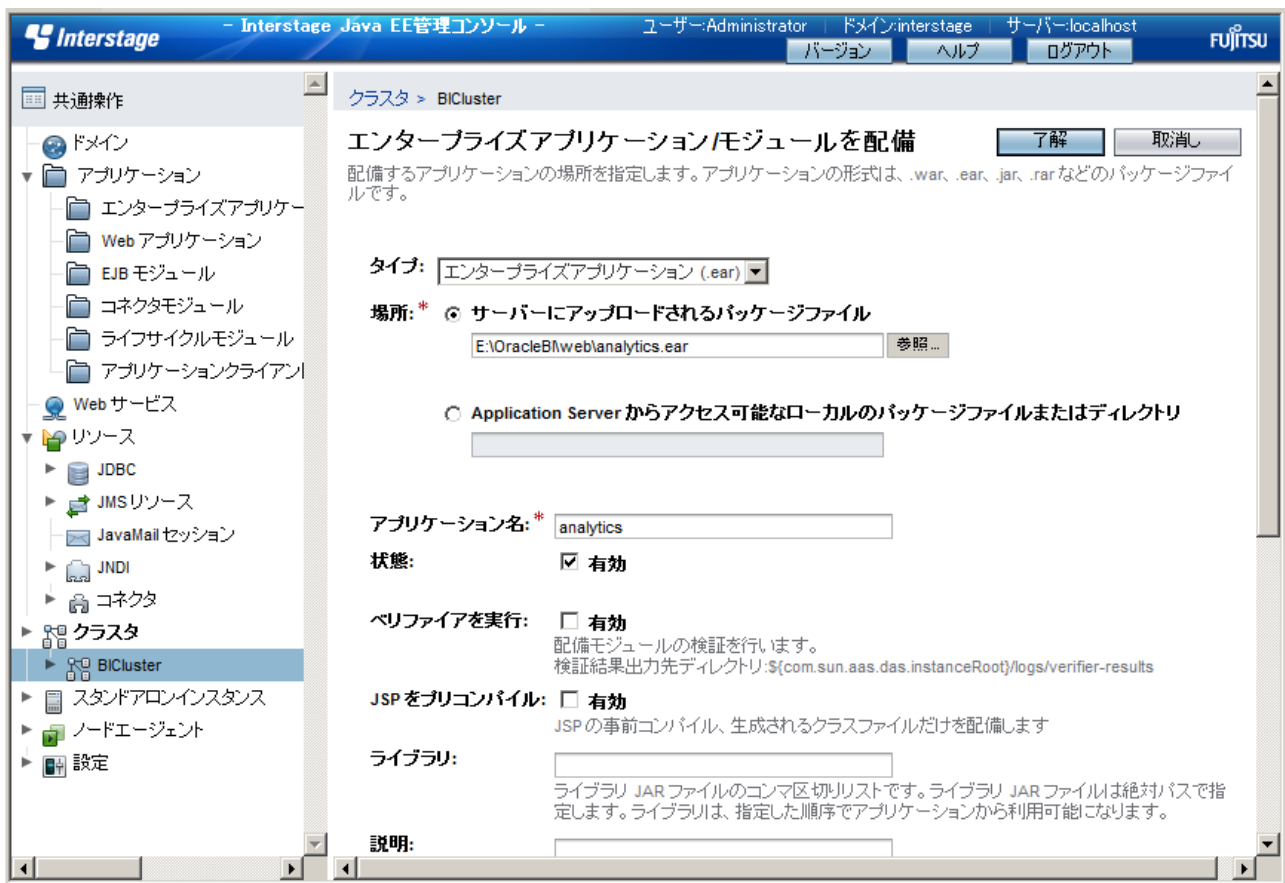
Interstage Java EE 管理コンソールへログインし、Oracle Business Intelligence コンポーネントを運用する IJServer クラスタとサーバインスタンスを作成します。

クラスタ名およびサーバインスタンス名は任意の名前を指定します。[設定:]は、“default-config”のままです。



### 2.3 Oracle Business Intelligence コンポーネントの配備

Oracle Business Intelligence コンポーネントを配備します。Interstage Java EE 管理コンソールの「エンタープライズアプリケーション/モジュールを配備」画面から、Oracle Business Intelligence インストール先にある、OracleBI/Web/analytics.ear ファイルを配備します。アプリケーション名には、analytics を指定します。



## 2.4 Oracle Business Intelligence の実行

作成した IJServer クラスタを起動します。Interstage Java EE 管理コンソールのサーバーインスタンスの一般情報を参照して、接続するサーバーインスタンスの HTTP ポートを調べます。



Web ブラウザから以下を入力すると、Oracle Business Intelligence のログイン画面が表示されます。

http://[ホスト名]:[HTTP ポート]/analytics



### 3. Oracle Business Intelligence の動作検証

富士通の Interstage Application Server V10 に、Oracle Business Intelligence コンポーネントを配備し、以下の項目について動作の検証を実施し正しく動作することを検証いたしました。

検証項目	検証数
Oracle Business Intelligence Answers の操作	12
Oracle Business Intelligence Answers でのリクエストのフィルター処理	13
リクエストでのビューおよびチャートの作成	17
ピボット・テーブルを使用した結果の表示	21
インタラクティブ・ダッシュボードの作成	23
インタラクティブ・ダッシュボードの構成	7
Oracle Business Intelligence のユーザー・インタフェースのカスタマイズ	4
ガイド付きナビゲーション・リンク	4
Oracle Business Intelligence Presentation Catalog の管理	10
	計
	111

### 4. 注意事項

#### 4.1 Oracle Business Intelligence のカスケーディング・スタイルシートについて

Oracle Business Intelligence の外観は、カスケーディング・スタイルシートを編集して変更可能です。カスケーディング・スタイルシートは、Interstage Application Server V10 に配備されている以下のフォルダにあります。

Interstage インストールフォルダ配下の

/F3FMisjee/var/domains/interstage/applications/j2ee-apps/analytics/analytics\_war/res/

以上

ORACLE®

FUJITSU

 Interstage

日本オラクル株式会社

富士通株式会社

[www.oracle.com](http://www.oracle.com)

[jp.fujitsu.com](http://jp.fujitsu.com)

Copyright © 2011, Oracle Corporation Japan. All rights reserved.

Copyright © 2011, Fujitsu. All rights reserved.

#### 無断転載を禁ず

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。

本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的の適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。日本オラクル株式会社および富士通株式会社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書は日本オラクル株式会社および富士通株式会社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Interstage は、国内および海外における富士通株式会社の登録商標です。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。他の製品名は、それぞれの所有者の商標です。